

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2015 年第 44 週
(10/26~11/1)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

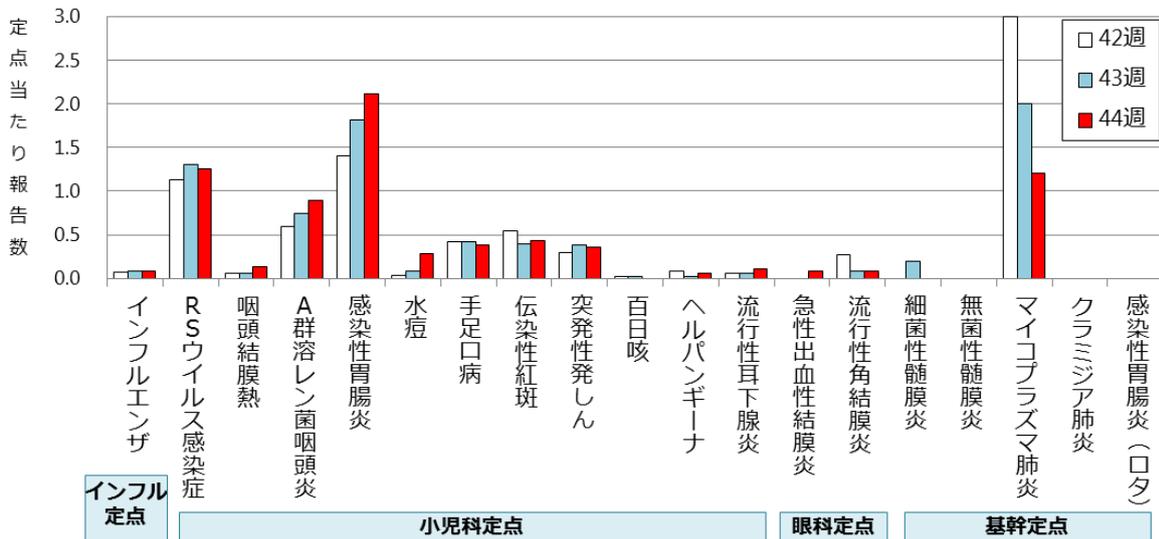
- ◇ 感染性胃腸炎が増加傾向にあることから、県内に「ノロウイルス食中毒注意報」が発令されました。→トピックス
- ◇ RSウイルス感染症は前週に引き続き報告数の多い状態です。
- ◇ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加傾向です。

■ 定点把握対象疾患 (インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所)

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所 (定点当たり報告数)
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 11 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例 (O157)
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、梅毒 1 例

● 2015 年累計

1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	347 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23 例
4 類感染症	つつが虫病	1 例
	デング熱	6 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	14 例
	ウイルス性肝炎	3 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例
	後天性免疫不全症候群	19 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例
	腸チフス	1 例
	マラリア	1 例
	レジオネラ症	24 例
侵襲性肺炎球菌感染症	33 例	
水痘 (入院例)	6 例	
梅毒	14 例	
播種性クリプトコックス症	1 例	
破傷風	1 例	
風しん	1 例	
麻疹	1 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《感染性胃腸炎》

◆ 県内にノロウイルス食中毒注意報が発令されました

感染性胃腸炎の患者報告数が増加傾向にあることから、岐阜県は11月5日、県内に「ノロウイルス食中毒注意報」を発令しました。

12月にかけて急速に流行が広がる可能性もありますので、今後の動向に注意が必要です。

これまで国内で流行するノロウイルスの遺伝子型はGⅡ.4が主流でしたが、昨年、川崎市で検出されたノロウイルスが新しい遺伝子型（GⅡ.P17-GⅡ.17）であったことが確認され、この型のウイルスが2015年1月以降、国内で広く流行していたことが明らかとなりました。

新しい遺伝子型の出現は、その型のウイルスに対する免疫を持たない集団が多く、大流行につながる可能性があるため、今シーズンは特に警戒が必要とされています。

新しい遺伝子型のノロウイルスであっても、予防方法は変わりません。流行に備え、予防対策の徹底が必要です。

感染性胃腸炎患者報告数



人から人への感染・食中毒を予防するために

★ 手洗い

トイレの後、調理前、食事前、汚物処理後などには、石けんと流水でしっかり手を洗い、手についたウイルスを落とします。手洗いは最も重要な予防方法です。

★ 汚物の処理は適切に

患者の嘔吐物や便を処理する場合は、使い捨てのマスクや手袋を使用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取った後、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）で消毒を行います。

★ 食品はしっかり加熱

加熱が必要な食品は中まで十分に火を通します。

★ 調理器具などの消毒は次亜塩素酸ナトリウムまたは熱湯で

調理器具、患者の便や嘔吐物で汚染された衣類・タオルなどなどは、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）または85℃・1分間以上の加熱により消毒します。

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>